

令和6年度(2024年度)年間授業計画表

|       |   |   |   |      |      |      |       |     |   |
|-------|---|---|---|------|------|------|-------|-----|---|
| 学年    | 2   | コース   | 総進、S、Z  | 選択形態 | 選択必修 | 科目   | 美術    | 単位  | 1 |
| 学習目標  | 美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。美術に限定した資質・能力にとどまらず、自己を表現する力を身に着ける。 |   |   |      |      |      |       |     |   |
| 使用教科書 | 高校生の美術2   | 副教材   | なし  |      |      |      | 予定時間数 | 35  |   |
| 単元と内容 |   |   |   |      |      |      |       |     |   |
| 1学期   | 『自画像』<br>全8回～12回  |   | スパッタリングやコラージュなど、様々な描画技法を習得し、自分と向き合い表現を模索しつつ、自画像を制作する。自己の内面を見つめる、様々な技法を体得した上で表現する。 |      |      |      |       |     |   |
| 2学期   | 『立体デザイン』<br>全10～13時間  |   | 立体デザインとして、粘土を用いた表現を行なう。身近なモチーフを収集し、社会や日常生活との関連を鑑賞で捉えた上で制作する。                      |      |      |      |       |     |   |
| 3学期   | 『木象嵌』<br>全8～10時間  |   | 木材の素材感に親しみ、素材に合った図案から発想し、制作する。様々な種類の木材の色や質感の美しさを感じ、作品を制作する。                       |      |      |      |       |     |   |
| 評価    |   |   |   |      |      |      |       |     |   |
| 評価の観点 |   | 評価の趣旨   |   |      |      | 評価対象 |       |     |   |
|       |   |   |   |      |      | 1学期末 | 2学期末  | 学年末 |   |
| ①     | 知識・技能   | 1.造形の奥深さと基本的な造形物の作り方を理解している。<br>2.色と形のもたらす効果を理解している。<br>3.道具の使い方を理解している。<br>4.道具の特性を生かして制作に活用できる。 |   |      |      | ○    | ○     | ○   |   |
| ②     | 思考力・判断力・表現力   | 1.自ら考え工夫して制作している。<br>2.考えたことを人にわかりやすく発表できる。<br>3.素材の特性を理解し用途に応じて使い分けを判断できる。                       |   |      |      | ○    | ○     | ○   |   |
| ③     | 主体的に学びに向かう態度  | 1.自ら意欲的に学習に取り組むことができる。<br>2.課題を理解し、準備等を積極的に行い、独自の表現を追求していくことができる。3.教員の                            |   |      |      | ○    | ○     | ○   |   |

|      |            |   |               |  |                |
|------|------------|---|---------------|--|----------------|
|      |            | 話を集中して聞くことができる。<br>4.意見交換の場で積極的に発言している。 |               |  |                |
| 評価方法 | ① 知識・技能    |   | ② 思考力・判断力・表現力 |  | ③ 主体的に学びに向かう態度 |
|      | 課題 60%     |   | 課題 50%        |  | 課題 60%         |
|      | ワークシート 40% |   | ワークシート 50%    |  | ワークシート 40%     |
|      |            |   |               |  |                |

令和 6 年度(2024年度) 年間授業計画表

|       |   |     |             |       |      |       |      |    |   |
|-------|---|-----|-------------|-------|------|-------|------|----|---|
| 学年    | 2   | コース | 全コース        | 選択形態  | 選択必修 | 科目    | 音楽 I | 単位 | 1 |
| 学習目標  | さまざまな音楽活動をする上で必要な基礎的な音楽能力を高め、活動を通して感性を豊かに育み、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽について考える力を身につけることを目標とします。 |     |             |       |      |       |      |    |   |
| 使用教科書 | 高校生の音楽 I (教芸/音 I 702)   | 副教材 | ワークシート、プリント | 予定時間数 | 35   | 実施時間数 |      |    |   |

単元と内容

|                   |                               |  |
|-------------------|-------------------------------|--|
| 1学期               | 歌唱                            |  |
|                   | 1 発音に注意して歌う                   | 鼻濁音や s 音 t 音などの子音に注意して歌う                   |
|                   | 2 曲の背景を考え理解する                 | 歌詞などから背景を考え理解する                            |
|                   | 3 曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う          | 歌詞の内容を理解し、作曲者のディナーミクの指示のもとに、ふさわしい表現を工夫して歌う |
|                   | 器楽 (ポディーパーカッション)              |  |
|                   | 1 リズムを確認する                    | 拍の取り方やリズムパターンを正確に理解する。                     |
|                   | 2 適切な表現を読み取り表現する              | 演奏するのに必要な情報を楽譜から読み取る                       |
| 3 様々なパートを合わせて演奏する | 強弱などを理解し、曲にあった音色など考え、適切な表現をする |  |
| 2学期               | 創作                            |  |
|                   | 1 楽器の特徴を理解する                  | 楽器の仕組みや、演奏方法を理解する                          |
|                   | 2 音色などを工夫し、表現する               | 楽器の音を工夫して表現する                              |
|                   | 器楽 (三線)                       |  |
|                   | 1 基本的な奏法                      | 運指や姿勢を理解し、音程をとれるようにする                      |
|                   | 2 正しいリズム・音程で演奏する              | 楽譜に書いてあるリズムや音を正しく演奏する                      |
|                   | 3 曲想を感じ取り、適切な表現をする            | 曲想を理解し曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。                  |
| 3学期               | 器楽 (キーボード)                    |  |
|                   | 1 基本的な奏法                      | 姿勢や楽器の持ち方、演奏方法を理解する。                       |
|                   | 2 正しいリズム・音程で演奏する              | 楽譜に書いてあるリズムや音を正しく演奏する                      |
|                   | 3 曲想を感じ取り、適切な表現をする            | 曲想を理解し曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。                  |
|                   | 鑑賞                            |  |
|                   | 1 曲の構成を理解する                   | 各部分の特徴を感じ取り、特徴の変化がこの曲の構造をつくり出していることを理解する   |
|                   | 2 作曲者の生涯を知り、音楽を理解する           | 作曲者の生涯や音楽史における彼の活躍について理解し、この曲の音楽表現を理解する    |

評価

| 評価の観点          | 評価の趣旨  | 評価対象       |          |     |
|----------------|--|------------|----------|-----|
|                |  | 1学期末       | 2学期末     | 学年末 |
| ① 知識・技能        | ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。<br>・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作などで表している。      | ○          | ○        | ○   |
| ② 思考力・判断力・表現力  | 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを受容しながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聞いたりしている。 | ○          | ○        | ○   |
| ③ 主体的に学びに向かう態度 | 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている   | ○          | ○        | ○   |
| 評価方法例          | ①  | ③          |          |     |
|                | 各種発表 80%   | ワークシート 80% | レポート 80% |     |
|                | 相互評価 20%   | 各種発表 20%   | 各種提出 20% |     |